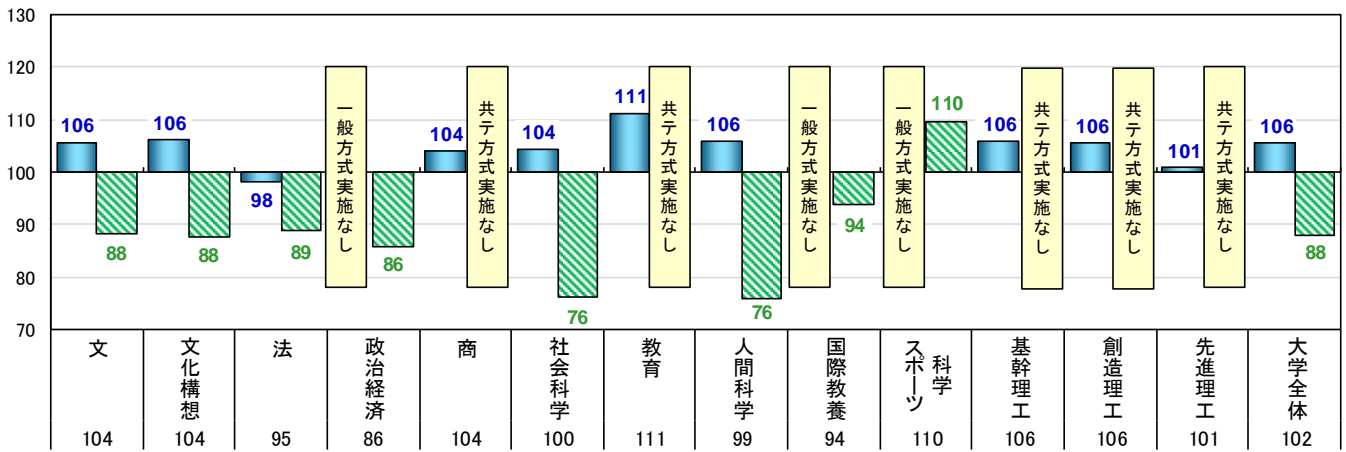


早稲田大：大学全体では4年ぶりの増加も10万人に届かず 一般：4,227人 共テ：-2,043人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数

■ 一般方式 ■ 共テ利用方式



主な入試変更点 募集人員：文…〈一般〉390人→340人
 文化構想…〈一般〉430人→370人
 配点変更：人間科学〈共テ・数学選抜〉…〈2次〉数〈560〉→〈360〉

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、2,184人(102)の微増だが4年ぶりの増加、ただし志願者数は2年連続で10万人を下回った。方式別では、一般方式(106)は、前年度に政治経済、国際教養、スポーツ科学が共通テスト利用方式のみに変更したが、この3学部を除いた集計で3年連続減少だった反動でやや増加。これに加えて、共通テスト難化による国公立大からの併願者増加も影響。共通テスト利用方式(88)は、前年度に先に述べた3学部がすべての募集単位を共通テスト利用方式に変更したことで増加した反動と出願締切日が1/20(木)で事後出願可能なことから共通テスト難化の影響も加わって減少。スポーツ科学を除く7学部が減少、特に社会科学(76)、人間科学(75)の2学部が大幅減少。

<一般方式>

- 文(106)は、やや増加で3年連続増加。方式別では、〈英語4技能〉(114)が5年連続増加。
- 文化構想(106)は、やや増加で2年連続増加。方式別では、〈英語4技能〉(116)が大幅増加で5年連続増加、〈一般〉(103)は4年連続減少の反動は小さくやや増加。
- 法(98)は、2年連続で前年度並。
- 商(104)は、4年連続減少の反動は小さくやや増加。
- 社会科学(104)は、3年連続減少の反動は小さくやや増加で、志願者数は1万人に届かなかった。
- 教育(111)は、3年連続減少の反動で増加。募集単位別では、前年度大幅増加の反動が見られた(教育/教育)(66)、(社会/地理歴史)(98)の2つの募集単位を除いて増加。特に、(複合文化)(153)、(教育/生涯教育)(147)、(教育/教育心理)(133)、(社会/公共市民学)(129)、(理/生物学)(122)、(教育/初等教育)(117)はいずれも大幅増加。
- 人間科学(106)は、3年連続減少の反動は小さくやや増加。学科別では、(人間情報科学)(137)が大幅増加、他の2学科はいずれもやや減少。
- 基幹理工(106)は、前年度減少の反動でやや増加。学系別では、(学系 I)(139)が前年度大幅減少の反動で大幅増加、(学系 III)(106)はやや増加。(学系 II)(101)は前年度並。
- 創造理工(106)は4年連続減少の反動は小さくやや増加。学科別では、(社会環境工)(118)が大幅増加、(建築)(111)、(総合機械工)(111)が増加、一方で、(環境資源工)(88)は3年連続減少、(経営システム工)(95)はやや減少で2年連続減少。
- 先進理工(101)は、微増だが7年ぶりの増加。学科別では、(応用物理)(117)が大幅増加、一方で(生命医科)(84)は2年連続大幅減少。

<共通テスト利用方式>

- 文(88)は、2年連続減少。前年度〈共テのみ〉を廃止したが、現行の〈+一般〉(88)のみの比較では2年連続増加の反動で減少。
- 文化構想(88)は、4年連続減少。前年度〈共テのみ〉を廃止したが、現行の〈+一般〉(88)のみの比較では前年度増加の反動で減少。
- 法(89)は、前年度の大幅増加の反動で減少。2020年度以降前年度の反動による増減が継続。
- 政治経済(86)は、前年度に全ての募集単位を共通テスト利用方式に変更し、志願者数は2.5倍近く増加した反動と共通テスト難化の影響で減少。方式別では、従来からある〈共テのみ〉(91)は3年連続減少、学科別では(政治)(78)が大幅減少。前年度から導入された〈共テ併用〉(83)は大幅減少、学科別では(経済)(69)が大幅減少で、他の2学科はやや増加。
- 社会科学(76)は、前年度大幅増加の反動により大幅減少。前年度の増減による反動が継続。
- 人間科学(76)は、2年連続大幅減少。学科別では、(人間環境科学)(66)は大幅減少、(健康福祉化学)(71)は2年連続大幅減少、(人間情報科学)(90)は2年連続減少。
- 国際教養(94)は、前年度に全ての募集単位を共通テスト利用方式に変更したが、共通テスト難化の影響もあってやや減少。
- スポーツ科学(110)は、3年連続減少の反動で増加。方式別では、〈+小論文〉(117)が大幅増加、〈競技歴〉(105)は4年連続減少の反動は小さくやや増加。〈共テのみ〉(99)は前年度並。